

(2) 資料の保存、管理

【平成 27 年度事業予定】

- ・良好な保存環境の維持に努め、収集資料の保存の万全を図る。
- ・収蔵庫の効率的な活用に努め、将来的な収蔵システムの在り方を検討する。

【平成 26 年度事業実績】

- ・例年の館内消毒を行い、展示室内の虫菌害予防のためのガス消毒を実施した。

(3) 展示事業

【平成 27 年度事業予定】

- ・常設展示では、川越の歴史を理解しやすく、親しみやすい展示にするとともに、市民の要望に添った企画展等を行う。

名 称	開 催 期 間
第 42 回企画展「妖怪一闇にひそむ不可思議なるもの」	平成 27 年 7 月 18 日～ 8 月 30 日
「平成 27 年新作名刀展」公益財団法人日本美術刀剣保存協会と共催	平成 27 年 9 月 12 日～ 9 月 27 日
開館 25 周年記念特別展 「小堀遠州と川越藩主一遠州と酒井忠勝の交流を中心に」	平成 27 年 10 月 10 日～ 11 月 15 日
第 26 回「むかしの勉強・むかしの遊び」展	平成 28 年 1 月 16 日～ 2 月 28 日
第 25 回収蔵品展	平成 28 年 3 月 26 日～ 5 月 8 日

【平成 26 年度事業実績】

- ・展示会開催回数 5 回 会期中の入館者数 62,931 人

(4) 教育普及事業

【平成 27 年度事業予定】

- ・市民の要望に添った各種講座・講演会を開催するとともに、学校教育・社会教育への協力援助を行う。

講 座 名	開 催 日	講 座 名	開 催 日
博物館歴史講座	① 4 月 19 日・26 日・5 月 10 日 ② 8 月 2 日・9 日・23 日 ③ 10 月 11 日・25 日・11 月 8 日 ④ 2 月 7 日・14 日・21 日	子ども博物館教室	① 6 月 13 日 ② 8 月 22 日 ③ 3 月 5 日
		子ども体験教室	毎月第 2・第 3 土曜日を中心に実施
野外博物館教室	① 4 月 18 日 ② 9 月 20 日 ③ 10 月 31 日 ④ 11 月 18 日	夏休み子ども体験	① 7 月 23 日 ② 7 月 29 日 ③ 8 月 5 日 ④ 8 月 25 日
古文書講座	① 5 月 24 日・31 日・6 月 7 日 ② 11 月 1 日・8 日・15 日	夏休み遊びの時間	7 月 25 日・26 日
民俗芸能実演	11 月 3 日	講 演 会	① 4 月 12 日 ② 10 月 10 日
縄文土器作り教室	1 月 30 日	資 料 特 別 解 説	8 月 16 日

【平成 26 年度事業実績】

- ・各種講座開催回数 59 回 各種講座参加人数 3,589 人
- ・博物館文化祭を実施した。(隔年実施)

幼・小・中・特別支援学校・高校・大学の利用状況（平成26年度）

平成26年度 項目		博物館		川越城本丸御殿		蔵造り資料館	
		園・学校数	利用者数	園・学校数	利用者数	園・学校数	利用者数
幼稚園	川越市内	1	77	0	0	0	0
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0
	埼玉県外	0	0	0	0	0	0
	合計	1	77	0	0	0	0
小学校	川越市内	75	6,877	11	1,040	10	959
	埼玉県内	112	9,339	52	4,493	87	6,916
	埼玉県外	3	242	3	230	4	280
	合計	190	16,458	66	5,763	101	8,155
中学校	川越市内	3	321	3	321	3	321
	埼玉県内	58	6,969	62	7,391	58	6,989
	埼玉県外	62	7,717	67	7,931	66	7,388
	合計	123	15,007	132	15,643	127	14,698
特別支援学校等	川越市内	5	171	3	49	2	32
	埼玉県内	8	79	11	146	5	72
	埼玉県外	8	110	11	286	8	247
	合計	21	360	25	481	15	351
高校	川越市内	1	62	1	62	1	62
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0
	埼玉県外	5	320	2	166	1	21
	合計	6	382	3	228	2	83
大学	川越市内	9	243	7	211	5	167
	埼玉県内	3	251	1	129	0	0
	埼玉県外	6	291	1	131	2	172
	合計	18	785	9	471	7	339
総数		359	33,069	235	22,586	252	23,626



野外博物館教室
「探訪中世城郭」見学の様子



第41回企画展
「古代入間郡の役所と道」の展示風景

(5) 蔵造り資料館耐震化事業

【平成 27 年度事業予定】

- ・耐震診断結果に基づき、耐震化事業等の設計を行う。
- ・耐震化事業及びリニューアル後の利活用に関する検討を行う。

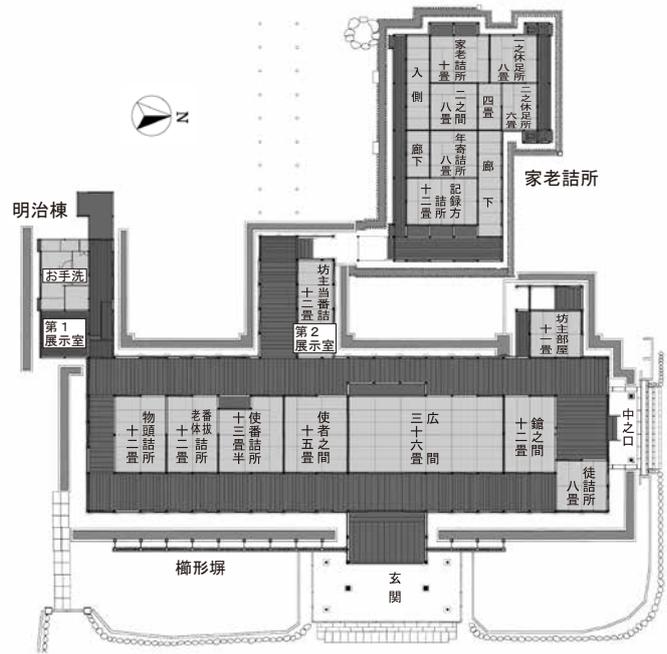
【平成 26 年度事業実績】

- ・耐震診断調査を行った。
- ・耐震化事業及びリニューアル後の利活用に関する検討を行った。

川越城本丸御殿概要



所在地…郭町2-13-1 (電話 224-6015)
 敷地面積…2,178㎡
 延床面積…802.06㎡
 構造…木造平屋建
 建築年度…嘉永元年 (1848年)
 展示資料…第1展示室は川越城本丸御殿保存修理工事に関する資料
 第2展示室は川越城の歴史に関する資料

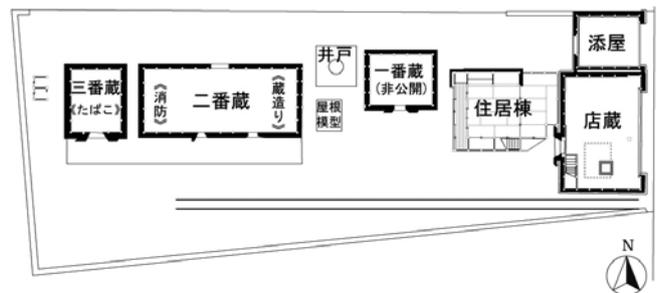


川越城本丸御殿の平面図

蔵造り資料館概要



所在地…幸町7-9 (電話 225-4287)
 敷地面積…674.19㎡
 延床面積…322.57㎡
 構造…土蔵造2階建
 建築年度…明治26年 (1893年)
 展示資料…二番蔵は蔵造りと消防に関する資料
 三番蔵はたばこ卸商「万文」ゆかりの資料



蔵造り資料館の平面図

学童保育

- ・昼間保護者のいない家庭の児童について、安全等を確保するとともに遊びを通じた自主性・社会性・創造性の向上を図るため、市立 32 小学校に学童保育室を開設して放課後の生活と遊びの場を提供し、心の豊かさを育てる保育の充実に努めている。

(平成 27. 4. 1 現在)

保育室名	設置年度	建物面積(㎡)	所 在 地	電 話	指導員数	在籍人数
川 越 第 一	昭和55	166.4	郭町1-21 小学校内	224-4134	5	85
川 越	昭和54	159.0	郭町1-1-1 ”	224-4755	4	57 (2)
中 央	昭和54	127.0	中原町1-25 ”	224-3999	4	56 (4)
仙 波	昭和54	278.4	富士見町4-1 ”	222-4877	6	98 (2)
武 蔵 野	昭和56	90.9	むさし野14-1 ”	242-6132	4	63 (2)
新 宿	昭和57	220.5	新宿町6-9-1 ”	242-6129	5	78 (1)
大 塚	昭和49	149.2	大塚2-10-1 ”	245-2552	5	61 (1)
泉	昭和56	110.1	小室463 ”	245-7232	4	62 (2)
月 越	昭和45	126.7	月吉町51 ”	224-6656	3	39 (2)
今 成	昭和53	106.4	今成2-42-1 ”	225-3747	3	39
芳 野	平成 6	120.7	鴨田331 ”	224-7976	3	32 (1)
古 谷	昭和55	151.0	古谷上5465 ”	235-4725	4	71 (2)
南 古 谷	昭和54	265.0	木野目1451 ”	235-1863	7	123 (5)
牛 子	昭和51	190.4	牛子418 ”	246-0741	6	89 (5)
高 階	昭和54	254.0	砂新田58 ”	244-6753	5	79 (2)
高 階 南	昭和49	167.4	諏訪町12-3 ”	244-4667	3	41 (2)
高 階 北	昭和50	209.5	砂新田1-16-1 ”	245-3906	6	82 (5)
高 階 西	昭和54	115.9	藤間1102 ”	244-6752	4	57 (4)
寺 尾	昭和52	125.4	寺尾979-2 ”	246-0740	3	48
福 原	昭和58	123.2	今福508 ”	246-0036	4	78
大 東 東	昭和52	124.6	豊田本1162 ”	244-9783	4	60
大 東 西	昭和50	132.5	山城32-5 ”	246-8780	6	99
霞 ケ 関	昭和54	243.5	笠幡177 ”	232-1328	6	84 (2)
霞 ケ 関 南	昭和50	222.9	かすみ野1-1-4 ”	232-7070	3	26
霞 ケ 関 北	昭和48	232.2	伊勢原町5-1-1 ”	232-5253	5	97
霞 ケ 関 東	昭和53	99.0	的場2735-2 ”	232-7959	3	42
霞 ケ 関 西	昭和52	189.7	笠幡3971-4 ”	232-5508	6	88 (2)
川 越 西	昭和59	126.0	川鶴1-5 ”	232-5601	4	62
名 細	昭和51	298.0	小堤214 ”	232-4519	7	78 (9)
上 戸	昭和51	134.0	上戸390-1 ”	232-4518	3	53
広 谷	昭和56	126.0	下広谷558-1 ”	233-4790	3	46
山 田	昭和54	191.3	山田167 ”	222-4151	5	93 (1)
計					143	2,166 (56)

() は障害児・内数

1. 文化財保護課 Tel:049-224-6097 E-mail:bunkazai@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 文化財の保護と活用

① 文化財補助事業

【平成 27 年度事業予定】

- ・川越市には、国・県・市指定文化財等が 264 件あり、これらの保存を目的に補助金を支出している。

【平成 26 年度事業実績】

- | | | | |
|-------------------|------|---------------|-----|
| ・無形民俗文化財の後継者育成等 | 16 件 | ・建造物等の防災設備保守等 | 9 件 |
| ・有形文化財・民俗文化財の保存修理 | 11 件 | ・史跡・天然記念物の保存等 | 8 件 |
| ・団体の育成 | 2 件 | | |

② 新指定文化財

【平成 27 年度事業予定】

- ・指定文化財の保存と活用に努める。また、各種文化財の調査を進める。

【平成 26 年度事業実績】

- ・笹原門樋（有形文化財・建造物）、沼口門樋（有形文化財・建造物）、三軒家樋管（有形文化財・建造物）、松井松平家伝来葵紋大旗（有形文化財・歴史資料）の 4 件を市の指定文化財として指定した。また、市指定文化財の大野家文書（有形文化財・古文書、石田本郷）25 点のうち 5 点が県の指定文化財として指定となった。

③ 文化財防火訓練

【平成 27 年度事業予定】

- ・毎年 1 月 26 日は、「文化財防火デー」となっている。これは昭和 24 年の法隆寺金堂壁画の焼失を機に定められた日で、文化財を火災や震災等の災害から守ることを目的としている。川越市でも、この日に合わせて文化財防火訓練を実施し、文化財保護の意識の高揚を図るため、喜多院・東照宮・日枝神社を会場として、川越地区消防組合等と共催で防火訓練を実施する。

【平成 26 年度事業実績】

第 57 回 川越市文化財防火訓練

- | | | | |
|-------|------------------|---------|-------------------------|
| ・実施日 | 平成 27 年 1 月 20 日 | ・出動消防車両 | 10 台（はしご車 2 台、化学車 1 台等） |
| ・参加者数 | 103 人 | ・見学者 | 約 200 人 |

④ 文化財登録制度（登録文化財）

【平成 27 年度事業予定】

- ・この登録制度は、指定制度を補完する制度である。保護対象の登録及び登録物件に関する届出制と、それに対する指導・助言・勧告を基本とする、緩やかな保護措置を講じる制度である。なお、平成 16 年の法改正で、建造物以外の有形文化財と有形民俗文化財、記念物の登録制度が創設されている。
- ・川越市内では、埼玉りそな銀行川越支店（旧八十五銀行本店本館）が、埼玉県では最初の登録有形文化財となったのをはじめ、旧山崎氏別邸庭園が登録記念物として文化財登録原簿に登録され、現在までに 13 件を数えている。

【平成 26 年度事業実績】

- ・三重家住宅主屋、三重家住宅門の 2 件が平成 26 年 12 月に登録有形文化財に登録された。三重家住宅は棟札から昭和 6 年（1931）に上棟されたことが明らかであり、平屋の主屋・門・庭園という武家住宅の伝統を継承しつつ近代和風建築の特徴を有する住宅である。

⑤ 埋蔵文化財

【平成 27 年度事業予定】

- ・川越市内では、現在 345 か所の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらは、国・県の指導のもと、詳細な分布調査を行い設定されたものである。こうした埋蔵文化財包蔵地の範囲内で開発行為を行う場合は、工事に先立って埋蔵文化財の存否を確認する試掘調査が必要である。試掘調査により、埋蔵文化財の存在が確認された場合、開発者との間で遺構の保存について協議し、どうしても破壊を免れないものについては、遺跡の姿を記録保存し後世に伝えるため発掘調査を実施する。

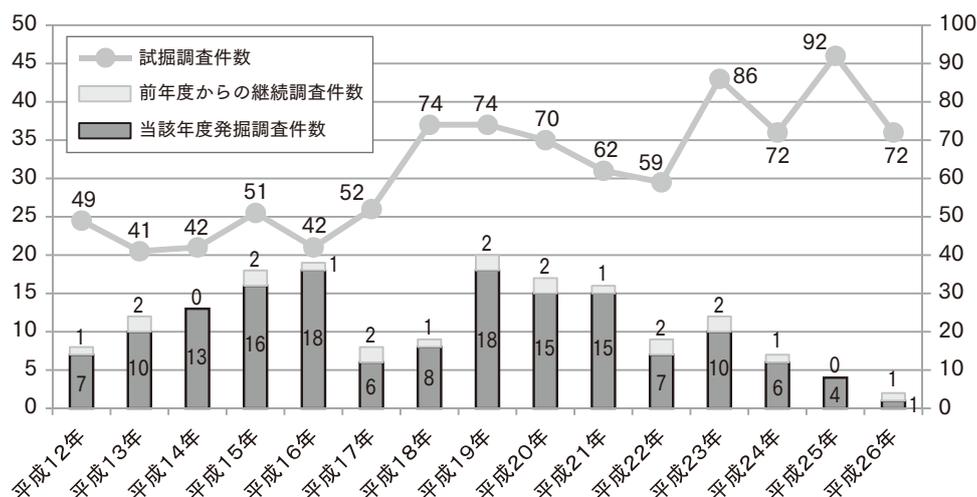
【平成 26 年度事業実績】

72 件の試掘調査及び 2 件（25 年度からの継続 1 件を含む。）の発掘調査を実施した。以下にその成果の一部を紹介する。

- ・八幡前・若宮遺跡（的場）第 4 次調査では、奈良時代の住居跡 1 軒を検出した。住居の北側には長い煙道を持つかまどが良好な状態で遺存していた。住居内からは土師器の小破片がわずかに出土した。
- ・西中原 5 号墳（南大塚 2 丁目）第 1 次調査では、古墳時代の円墳 1 基を調査した。後世の土取り等により一部壊されていたが、周堀外径約 30 m、内径約 21 m の規模を確認した。主体部は礫槨であり、周堀から出土した円筒埴輪の特徴から 6 世紀中頃の築造と考えられる。

以上のように、平成 26 年度の調査では地域の歴史を物語る多くの遺構・遺物が出土している。

試掘調査・発掘調査の状況



⑥ 関係団体との連携

【平成 27 年度事業予定】

- ・文化財保護の意識の高揚、伝統芸能の保存・育成を目的とし、埼玉県文化財保護協会、川越市文化財保護協会、各民俗芸能保存団体等と連携して、各事業の実施や援助を行う。

【平成 26 年度実績】

- ・川越市文化財保護協会実施事業の文化財講座（2回）、文化財見学会（2回）、市内文化財巡り、会報の発行等の事務援助を行った。また、上戸芸能保存会・鯨井の万作保存会などと連携し、河越流鏝馬（11月15日実施）のなかで民俗芸能の披露を行った。

⑦ 時の鐘耐震化事業

【平成 27 年度事業予定】

- ・耐震補強工事及び保存修理工事（主に基礎工事）を実施する。（平成 27 年度～ 28 年度継続事業）

【平成 26 年度事業実績】

- ・平成 25 年度に実施した耐震診断業務の結果を踏まえ、耐震補強工事設計を実施した。

管理施設

施設名	山車集中保管庫	時 の 鐘	永島家住宅 (旧武家屋敷)	国指定史跡 河越館跡史跡公園	川 越 城 中ノ門堀跡
所在地	郭町2-25-12	幸町15-7	三久保町5-3	上戸192-1他	郭町1-8-6
敷地面積	1,071.80㎡	52.89㎡	1,184.62㎡	12,172㎡	1,078.56㎡
構造	鉄筋コンクリート造	木造内部4層	木造平屋	—	—
延床面積	270.90㎡	20.66㎡	177.94㎡	—	—
建築年	昭和45年(1970)	明治27年(1894)	—	—	—
指定年月日	—	昭和33年3月6日	平成18年3月27日	—	—
整備年	—	—	—	平成21年(2009)	平成22年(2010)
備考	—	—	建物の一部(31.41㎡) は個人所有	—	—

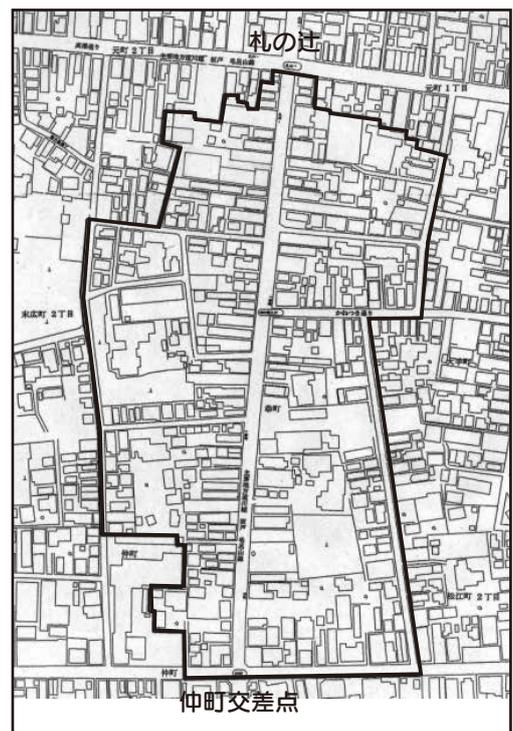
伝統的建造物群保存地区

川越市川越伝統的建造物群保存地区は、昭和 50 年の保存対策調査の後、長年の取組を経て平成 11 年 4 月に都市計画決定を行い、同年 12 月に国から重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた。地区の範囲は、札の辻から仲町交差点までの南北約 430m、東西約 200m、面積約 7.8 ha である。

地区内には、重要文化財大沢家住宅や、本市のシンボル「時の鐘」のほか、明治 26 年の大火後に建てられた蔵造り商家群を筆頭に、大正・昭和初期に建てられた近代洋風建築や看板建築など、各時代の特徴を表すさまざまな建築様式が伝えられており、我が国の都市建築の発展をうかがわせる貴重な町並みである。

更に、市民が主体的にまちづくりに取り組んでいることも高い評価を得ている。

平成 26 年度は、新たに 9 件の伝統的建造物を特定した。その結果、特定物件の合計は 131 件となった。また、保存事業として、伝統的建造物の修理 6 件（通常 3 件、災害復旧修理 3 件）、応急修理 12 件、景観事業 3 件、合計 21 件の補助事業を行った。



川越市川越伝統的建造物群保存地区の範囲

指定文化財一覧

国指定文化財			県指定文化財			市指定文化財		
種	別	件	種	別	件	種	別	件
重要文化財	建造物	4	有形文化財	建造物	9	有形文化財	建造物	51
	絵画	2		絵画	2		絵画	1
	工芸品	4		彫刻	2		彫刻	12
	書籍・典籍・古文書	1		工芸品	3		工芸品	20
	無形民俗文化財	1		書籍・典籍・古文書	7		書籍・典籍・古文書	27
記念物	史跡	1		考古資料	1		考古資料	7
指定文化財計		13		歴史資料	1		歴史資料	6
			民俗文化財	有形民俗文化財	1	民俗文化財	有形民俗文化財	20
重要伝統的建造物群保存地区		1		無形民俗文化財	6		無形民俗文化財	11
重要美術品		2	記念物	史跡	3	記念物	史跡	32
登録有形文化財		12		天然記念物	1		天然記念物	8
登録記念物		1		旧跡	4			
計		29	計		40	計		195
総計			総計			264 件		

出版物

「川越建物細見」をはじめとしたパンフレット及び書籍・地図を発行し、市民の文化財保護に対する認識を高める手段として活用されている。なお書籍・地図については有償にて頒布しており、文化財保護課のほかに、市立博物館、川越まつり会館でも入手できる。

パンフレット	川越市の歴史年表
	川越建物細見
	国指定史跡河越館跡
	川越市指定文化財時の鐘
	川越の祭りと芸能
	国指定史跡河越館跡史跡公園
	川越城中ノ門堀跡
	市指定文化財旧山崎家別邸
市指定史跡永島家住宅（旧武家屋敷）	

書籍・地図	川越市の文化財
	ハンドブック 川越の歴史
	川越の伝説
	続川越の伝説
	川越の人物誌 第1集
	川越の人物誌 第2集
	川越の人物誌 第3集 女性編
	川越水川祭りの山車行事調査報告書
	川越市文化財散策マップ
	川越の民俗調査報告書第1集 福原・南古谷地区の民俗
	川越の民俗調査報告書第2集 山田地区の民俗
	川越市指定文化財 旧山崎家別邸調査報告書
	元町二丁目井上家文書目録
	川越市山田地区民具調査報告書 鹿倉家の民具
	川越の神社建築
川越の寺院建築	

新指定文化財

県指定文化財（新指定）

おおの けもんじょ
大野家文書（有形文化財・古文書 平成 27 年 3 月 13 日指定）

市指定文化財「石田本郷大野家文書」25 点のうち 5 点が県指定文化財に指定されたもので、河越本郷（現川越市石田本郷）の大野家に伝来した戦国時代の文書であり、北条氏の河越本郷における検地や、豊臣秀吉との決戦に備えた小田原城の普請役、軍役負担など、北条氏による領国支配の実態を伝える文書である。5 点のうち 3 点は通常サイズの文書（約縦 30cm × 横 40～50cm）の 1/4 程度の「小切紙」と呼ばれる形状の文書で、伝達後に破棄される可能性の高い事務文書であり、これが複数残されているのは希少である。

以上のように当地に続く大野家に 5 点がまとまって代々伝来してきたものであり、由緒来歴が確かであるとともに、地域の歴史を伝える文書として重要なものである。



丙戌正月十日付 北条家朱印状（15.6 × 20.6cm）

市指定文化財（新指定）

さきはらもんぴ
笹原門樋（有形文化財・建造物 平成 27 年 3 月 25 日指定）

笹原門樋は、明治 34 年（1901）に旧荒川の右岸堤防に設けられた制水施設で、灌漑用水の取水や増水時の逆流を防ぐ水門の機能を果たしていた。

笹原門樋の際立った特徴は、橋梁の親柱をイメージした 2 つの塔とその間の面壁天端部分に施された装飾である。つまり、面壁天端部分が、煉瓦造建築において軒先を合理的かつ美しく処理するために施されたコーニス（蛇腹）やデンティル積み（歯状装飾）のデザイン・モチーフに着想を得ている点、そして両端に 2 つの塔を配し、中央に装飾的な面壁天端、石の銘版、アーチの抗門を縦に並べる均整のとれた立面構成をとっている点から推測できるように、設計した技師は単なる土木構築物としてではなく、建築美に劣らない芸術性を試みようとしているのである。

以上のように、笹原門樋は、双塔式立面構成やアーチ、コーニス、デンティル積みといった洋風建築のデザイン・モチーフを駆使して設計・施工されたアーチ型門樋の典型を示す明治の煉瓦造土木遺産として貴重なものである。



笹原門樋

ぬまぐちもんぴ

沼口門樋 (有形文化財・建造物 平成 27 年 3 月 25 日指定)

沼口門樋は、明治 38 年 (1905) に伊佐沼の東側数十メートルの八幡川 (笹原排水) に設けられた制水施設で、伊佐沼からの余水を通常は堰板を使用せず排水させるものであったが、用水需要期には堰板により仕切り、伊佐沼の水位を一定の標高まで貯水させる機能を持っていた。このことで、他の用水へ水が引き入れられることとなった。なお、用水需要期が終了すれば堰板をはずし元の排水専用とするものであった。現在は制水施設としての役目を終え、かつての面影を伝えるのみとなっている。外観は、伊佐沼からの川の流れを集める煉瓦造の翼壁と 2 ヶ所の仕切弁を開閉するための 3 本の堰柱、そして巻き上げ装置を支える笠木で構成されたシンプルな構造である。材料としての特徴は、堰柱と笠木などには石材が、側壁と翼壁にはイギリス積の煉瓦が、木製の仕切弁 (堰板) を巻き上げる装置や石材を繋ぐボルト接合には鉄材が採用されるなど、近代の息吹を今日まで伝えてくれる貴重な文化遺産といえる。

以上のように、沼口門樋は、簡素で合理的な近代土木遺産の特徴を顕著にあらわすものとして貴重なものである。



沼口門樋

さんげんやひかん

三軒家樋管 (有形文化財・建造物 平成 27 年 3 月 25 日指定)

三軒家樋管は、明治 43 年 (1910) に設置された新河岸川に悪水を吐くための樋管で、呑口 (のみぐち) と吐口 (はきぐち) のアーチ数と形式が異なる。

呑口は、煉瓦造の segmental-arch (分円アーチ) で構成され、4 重に積まれたアーチ・リングが施されている。面壁部の銘板には、右から「明治四十三年五月戌」と刻まれ、竣工年代を明らかにしている。

一方の吐口は煉瓦造の壁と石の堰柱で構成され、2 連の分円アーチから成り、アーチ・リングは 3 重である。吐口を 2 連のアーチで分割しているのは、開口面積を狭くして、人力による制水の微調整を容易にできるように考えられたようである。3 本の堰柱のうち巻き上げ式堰板の縦溝が上部まで残るのは、両端の 2 本だけで、中央の堰柱には基部しか残っていない。なお、両端の堰柱の一部には、石の角を削って煉瓦が 5 層ずつはめ込まれている。これは、石と煉瓦の素材と色によるコントラストを意匠として表現しようとしたと思われる。そして天端には、石の銘板が一文字ずつ埋め込まれ、右から「三」、「軒」、「家」、「樋」、「管」と記されている。

以上のように、三軒家樋管は、呑口と吐口の形状が異なる特異な形式を採用し、際立った煉瓦装飾が施されていないが、間口の広い呑口と狭い吐口でアーチ・リングを変えて合理的かつ意匠的に工夫されていることや、煉瓦と石のコントラストを巧みに表現するなど、近代土木遺産の特徴を顕著にあらわしており貴重なものである。



三軒家樋管

まつい まつだいら けい でんらいあおいもんおおはたつたけおおはたじ きれぬ吹ぬいと
松井松平家伝来葵紋大旗附大旗地裂並縫糸三点（有形文化財・歴史資料 平成 27 年 3 月 25 日指定）

松井松平家伝来葵紋大旗附大旗地裂並縫糸三点は、松平周防守家菩提寺の光西寺に伝わる幅 257cm、縦 226cm の葵の御紋の旗であり、一番古く破損の激しい旗は裏打ちをされて大切に保存されており、『松平家譜』等に記録がある天正 10 年（1582）に徳川家康から松井松平家初代康親が賜った葵紋大旗であると考えられる。他の 2 点は江戸時代初期から中期に製作された複製で、日光社参など特別な機会に松平周防守家の本陣旗として使われたものであると考えられる。本資料は徳川家と強い主従関係を結んだ松平家周防守家の家格を示す歴史資料として大変貴重である。



旗（江戸時代初期の複製）

国指定史跡「河越館跡」

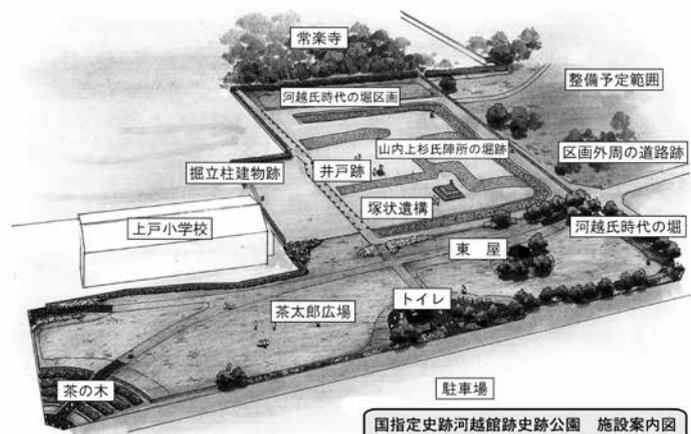
市内上戸・鯨井地区にある河越館跡は、鎌倉～南北朝時代に活躍した武蔵武士河越氏の館跡であり、昭和 59 年 12 月 6 日に国の指定史跡となっている。指定地の面積は、48,509.18㎡である。

川越市はこの館跡の整備を進めるにあたり、昭和 61 年度に「史跡河越館跡保存管理基本計画」を策定。続いて、平成 12 年度には「河越館跡整備基本計画」を策定した。現在は、これらの計画に基づき整備事業を行っている。整備事業の実施に当たっては国・県の補助を受けつつ土地を公有地化、遺構確認のための発掘調査を行い、その成果に基づき整備内容を検討し、整備工事を実施している。土地は、現在、公有地化予定面積の約 93%を取得している。発掘調査は、歴史研究者による調査指導委員会の指導・助言を受けながら現在までに 16 回実施した。具体的な整備内容の検討は、歴史・建築・造園などの専門家から成る整備検討委員会によって進められ、平成 17 年度に「河越館跡史跡整備基本設計」を策定。続いて、平成 19 年度には「河越館跡（第 1 期）史跡整備実施設計」を策定した。この実施設計に基づき平成 19 年度から平成 21 年度まで河越館跡（第 1 期）史跡整備工事を実施した。

そして、第 1 期史跡整備工事完了後の平成 21 年 11 月 15 日に「国指定史跡河越館跡史跡公園」を開園した。この公園は、次世代に伝えるべき貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに、郷土学習の場、市民の憩いの場として有効な活用を目指すことを目的としている。全体が、「史跡の広場」「茶太郎広場」の 2 つにゾーニングされ、「史跡の広場」には、河越氏時代の遺構が復元表示され、「茶太郎広場」には、広々とした芝生の広場の一面に中世の銘茶「河越茶」に因んだお茶の木が植栽されている。

河越館跡の活用事業として平成 26 年度は公民館講座等での現地案内や小学校への出前授業を行うとともに、11 月 15 日に河越流鎗馬実行委員会による「河越流鎗馬」を実施し、3,600 人の方に来場いただいた。また、発掘調査の成果をまとめた報告書を刊行した。

平成 27 年度は、活用事業を充実させるとともに、今後の整備へ向けての準備を進める予定である。



市指定史跡「永島家住宅（旧武家屋敷）」

永島家住宅は、川越城南大手門近くの侍町であった南久保町（現三久保町の一部）の一角に構えられた武家屋敷である。古文書や絵図資料から、その武家屋敷に住んでいた武士は、松平大和守家時代には250石から350石、最後の松平周防守家時代には110石の武士が住んでいたことがわかっている。また、特に御典医が居住していたことが知られており、周防守家の石原昌廸まさみちは、30人ほどからなる藩医の筆頭の立場にあったことがわかっている。



平成18年3月に市指定文化財に指定され、平成24年3月より庭園の一般公開を行っている。

【平成26年度 見学者数】 毎月第3土曜日 9:00～16:00 公開

公開月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
見学者数(人)	128	68	38	36	32	63	865	55	52	22	85	351	1,795

※10月19日(日)川越まつりに伴う特別公開、3月28日(土)春まつりに伴う特別公開の見学者数を含む。

◇資料 目次

○教育委員会事務局組織の改正	75
○委員会等一覧	76
○歴代教育委員会委員長	77
○歴代教育長	77
○歴代教育委員会委員	77
○教育施設配置図	78
○市立学校一覧	79
○市立学校施設の現況	81
○児童生徒数と今後の推移	85
○小・中・特別支援学校職員の数	87
○高等学校教職員の数	87
○私立幼稚園一覧	88
○私立幼稚園数・園児数・学級数の推移	88

資料編

教育委員会事務局組織の改正

昭和27年11月	教育委員会事務局設置、総務課、学校教育課、社会教育課	
昭和33年 5月	係の新設	
	総務課……	庶務係、経理係
	学校教育課……	学務係、指導係
	社会教育課……	社会教育係、社会体育係
昭和38年10月	保健体育課の新設	
	総務課……	庶務係、管理係
	学校教育課……	学務係、指導係
	社会教育課……	社会教育係、社会体育係
	保健体育課……	保健係、体育係
昭和43年11月	学校給食企画課の新設	
	学校給食企画課……	調査企画係
昭和44年 8月	学校給食センターの設置	
	学校給食企画課の廃止	
昭和49年 7月	社会教育課に 2 係新設	
	社会教育課……	同和教育係、文化財係
昭和52年 8月	学校給食課の新設	
	学校給食課……	庶務係、管理係
昭和56年 8月	総務課に 1 係新設	
	総務課……	施設係
昭和58年 4月	教育次長 2 人制となる	
平成元年 7月	2 部 5 課 12 係となる	
	管理部……	総務課 庶務係、企画調整係
		教育財務課 管理係、財務係
	指導部……	学校教育課 学務係、指導係
		社会教育課 社会教育係、同和教育係、文化財係
		保健体育課 保健係、体育係、給食係
平成 6 年 4 月	2 部 6 課 15 係となる	
	管理部……	教育総務課 総務係、企画調整係
		教育財務課 管理係、財務係、学童保育係
		保健体育課 保健係、社会体育係、給食係
	指導部……	学校教育課 学務係、指導係
		生涯学習課 生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係
		文化財保護課 管理係、調査係
平成 9 年 4 月	保健体育課給食係を第一学校給食センターへ移す（管理係として）	
	2 部 6 課 14 係となる	
平成11年 4 月	2 部 7 課 17 係となる	
	生涯学習部……	教育総務課 総務係、企画調整係
		教育財務課 管理係、財務係、学童保育係
		生涯学習課 生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係
		市民スポーツ課 スポーツ振興係、国体準備担当
		文化財保護課 管理係、伝建地区担当、調査係
	学校教育部……	学校管理課 学務係、教職員係
		教育指導課 指導係、保健係
平成13年 4 月	生涯学習部に国体推進室を新設	
	生涯学習部……	国体推進室 国体推進担当

平成15年 4月	生涯学習課に高階地区公共施設整備担当を新設、同和教育係を人権教育係とする 国体推進室の廃止
平成16年 4月	生涯学習部に高階地区公共施設整備推進室を新設 生涯学習部……高階地区公共施設整備推進室 高階地区公共施設整備推進担当
平成18年 4月	学校教育部に学校給食課を新設 学校教育部……学校給食課 管理係、学校給食費係
平成19年 4月	生涯学習部を教育総務部に名称変更 係制を廃止し、グループ制を導入
平成20年 4月	高階地区公共施設整備推進室の廃止
平成22年 4月	教育総務部に地域教育支援課を新設 教育総務部……地域教育支援課 地域教育支援担当、人権教育担当 旧生涯学習課の事務は地域教育支援課と市長部局の文化振興課へ移管、旧市民スポーツ課 の事務は市長部局のスポーツ振興課へ移管
平成25年 4月	教育指導課に生徒指導担当を新設、学校給食課に施設担当を新設

委員会等一覧

- 川越市教育振興基本計画審議会
委員…12人 任期…平成27年 5月27日～当該諮問に係る審議が終了するまでの期間
- 川越市社会教育委員協議会
委員…21人 任期…平成25年10月 1日～平成27年 9月30日
- 川越市人権教育推進協議会
委員…18人 任期…平成27年 4月20日～平成29年 3月31日
- 川越市小堤集会所運営委員会
委員… 8人 任期…平成27年 4月 1日～平成29年 3月31日
- 川越市文化財保護審議会
委員…11人 任期…平成27年 4月 1日～平成29年 3月31日
- 川越市河越館跡整備検討委員会
委員…10人 任期…平成26年11月 1日～平成28年10月31日
- 川越市山王塚古墳調査検討委員会
委員… 6人 任期…平成26年11月 1日～平成28年10月31日
- 川越氷川祭の山車行事山車等修理検討委員会
委員… 5人 任期…平成27年 4月 1日～平成29年 3月31日
- 川越市公民館運営審議会
委員…24人 任期…平成27年 5月22日～平成29年 5月21日
- 川越市立図書館協議会
委員…15人 任期…平成27年 1月17日～平成29年 1月16日
- 川越市立博物館協議会
委員…15人 任期…平成26年 6月 5日～平成28年 6月 4日
- 川越市立川越高等学校教育審議会
委員…12人 任期…平成27年 5月20日～平成28年 3月31日
- 川越市幼児教育振興審議会
委員…11人 任期…平成27年 7月25日～平成29年 7月24日
- 川越市いじめ問題対策委員会
委員… 8人 任期…平成27年 3月25日～平成29年 3月24日
- 川越市立学校給食センター運営委員会
委員…15人 任期…平成25年 9月 1日～平成27年 8月31日
- 川越市新学校給食センター整備運営事業者選定委員会
委員… 5人 任期…平成27年 1月29日～契約締結日
- 川越市就学支援委員会
委員…15人 任期…平成27年 5月 8日～平成29年 3月31日

歴代教育委員会委員長

氏名	就任年月日	退任年月日
岸 憲夫	S 27.10. 5	S 30. 4.22
佐々木 文蔵	S 30. 5. 1	S 31. 9.30
竹内 栄吉	S 31.10. 1	S 39. 9.30
橋村 尚中	S 39.10. 1	S 40. 8.13
水村 三郎	S 40. 8.13	S 42.11.30
内田 秀夫	S 42.12. 1	S 44.11.30
佐々木 文蔵	S 44.12. 1	S 45.10.12
内田 秀夫	S 45.11. 9	S 49. 4. 2
鈴木 咸	S 49. 4. 3	S 49.12.20
鈴木 咸	S 49.12.25	S 51. 4. 7
水村 三郎	S 51. 4. 8	S 62. 1.15
関本 定雄	S 62. 1.16	H 8. 7.27
采澤 好子	H 8.10. 4	H10.10. 3
佐久間 勇次	H10.10. 4	H12. 9.30
齊藤 信子	H12.10.10	H18.12.27
伊藤 幾造	H19. 1. 5	H21. 3.31
星野 明德	H21. 4. 1	H25. 3.31
梶川 牧子	H25. 4. 1	

歴代教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
江原 四郎	S 27.11. 1	S 32. 9.30
大塚 仁之助	S 32.10. 1	S 35. 9.30
斎藤 芳一	S 35.10. 1	S 51. 9.30
斎藤 芳一	S 51.10.15	S 55.10. 5
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3.31
大久原 秀雄	H 7. 4. 1	H13. 3.31
星野 明德	H13. 4. 1	H17. 3.31
山浦 秀男	H17. 4. 1	H21. 3.31
新井 孝次	H21. 4. 1	H25. 3.31
伊藤 明	H25. 4. 1	

歴代教育委員会委員

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
岸 憲夫	S 27.10. 5	S 30. 4.22	
佐々木文蔵	S 27.10. 5	S 31. 9.30	
橋本 正代	S 27.10. 5	S 31. 9.30	
青山 四郎	S 27.10. 5	S 31. 9.30	
西川 卯八	S 27.10.28	S 29. 7. 1	議会選出
佐藤仲治郎	S 29. 7. 2	S 30. 4. 3	議会選出
須賀喜久治	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	市町村合併による
浜野 真平	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
新井 茂重	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
松本 正夫	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
石川 定彦	S 30. 4. 1	S 31. 7.14	〃
長谷 嶺宗	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
戸田 松雄	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
小林玉之助	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
加藤源四郎	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
岸野仁太郎	S 30. 5.19	S 31. 5.28	議会選出
金子 良雄	S 31. 5.28	S 31. 9.30	議会選出
竹内 栄吉	S 31.10. 1	S 39. 9.30	
仲 篤司	S 31.10. 1	S 34. 9.30	
橋村 尚中	S 31.10. 1	S 40. 8.13	
粕谷 武蔵	S 31.10. 1	S 32. 9.30	
粕谷 武蔵	S 32.11. 9	S 36.11. 8	
大塚仁之助	S 31.10. 1	S 35. 9.30	教育長
斎藤 芳一	S 35.10. 1	S 51. 9.30	教育長
内田 秀夫	S 38. 7. 8	S 50. 7. 7	
関口道之助	S 39.12.24	S 47.12.23	
水村 三郎	S 40. 4. 1	H 5. 3.31	
佐々木文蔵	S 41. 4. 7	S 45.10.12	
鈴木 咸	S 45.12.21	S 49.12.20	
岩田 正	S 47.12.28	S 55.12.27	

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
鈴木 咸	S 49.12.25	S 51. 4. 7	
関本 定雄	S 50.12.25	S 54.12.24	
斎藤 芳一	S 51.10. 6	S 55.10. 5	教育長
田中 賢司	S 52.12.24	S 53.12.24	
田中 賢司	S 53.12.27	H 6.12.26	
関本 定雄	S 55. 7.28	H 8. 7.27	
岩田 正	S 56. 4. 1	H 8. 6.19	
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3.31	教育長
大久原秀雄	H 5. 4. 1	H13. 3.31	教育長
采澤 好子	H 6.12.27	H10.12.26	
岡安 道夫	H 7. 7. 1	H 9. 3.31	
伊藤 幾造	H 8.10. 1	H21. 3.31	
佐久間勇次	H 8.10. 1	H12. 9.30	
奥村 順一	H 9. 4. 1	H13. 3.31	
齊藤 信子	H10.12.28	H18.12.27	
長澤 仁志	H12.10. 1	H16. 9.30	
長澤 仁志	H17. 4. 1	H21. 3.31	
深井 英男	H13. 4. 1	H17. 3.31	
星野 明德	H13. 4. 1	H17. 3.31	教育長
白倉喜美枝	H17. 4. 1	H21. 3.31	
山浦 秀男	H17. 4. 1	H21. 3.31	教育長
相馬 實	H18.12.28	H22.12.27	
星野 明德	H21. 4. 1	H25. 3.31	
長谷川 均	H21. 4. 1		
後藤 佳子	H21. 4. 1	H25. 3.31	
新井 孝次	H21. 4. 1	H25. 3.31	教育長
梶川 牧子	H22.12.28		
原田 由美	H25. 4. 1		
長井 良憲	H25. 4. 1		
伊藤 明	H25. 4. 1		教育長